

学者の会シンポジウム

大阪市「**廃止**」は、如何に「**危ない**」のか？

住民投票における**理性的**な有権者判断の支援を目指して

(主催：「豊かな大阪をつくる」学者の会)

日時： 令和2年10月4日（日） 午後2時～午後5時

場所： ターネンビルNo.2 2階
大阪府中央区谷町2丁目3-1

主催： 「豊かな大阪をつくる」学者の会

プログラム：

- ・ 藤井 聡・京都大学大学院教授（国土計画学・公共政策論）
- ・ 森 裕之・立命館大学教授（地方財政学）
- ・ 川端祐一郎・京都大学大学院助教（公共政策論）
- ・ 桜田照雄・阪南大学教授（経済学）
- ・ 河田 恵昭・関西大学社会安全研究センター長（防災学）

都構想の真実

大阪市廃止が導く日本の没落

令和2年10月04日

京都大学大学院教授
藤井聡

「大阪都構想」とは……

■「論外」の代物

- ・「大阪市」が廃止され、消滅する、という話。
結局、大阪市民が自治を失うだけの話
(=財源と権限を失う)
- ・かつ、その超過激改革で大混乱し、大阪は確実に衰弱。
- ・だから「デマ・炎上」さえ無ければ、賛成多数とはならない。

■しかし「維新の存続」のために求められている。

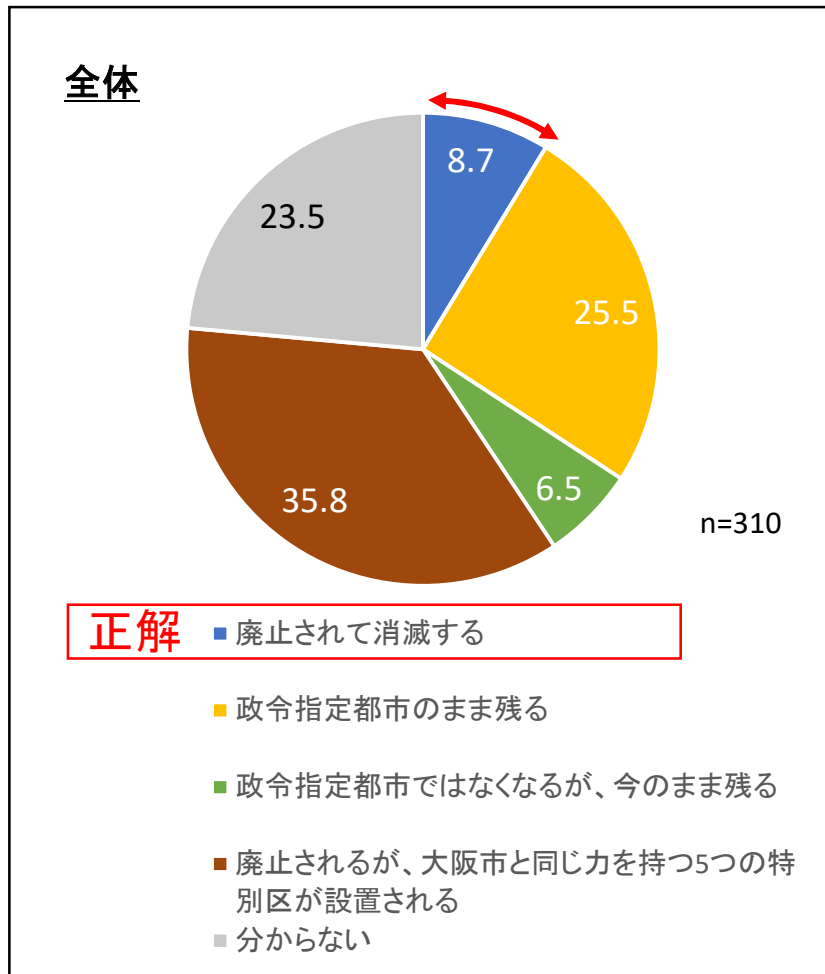
(そして、その「維新の力」が必要な公明党による
「サポート」により、未だに存続し続けている)

(2015年の都構想住民投票直後のアンケート調査より)

「都構想によって大阪市はどうか？」についてのクイズ正答率

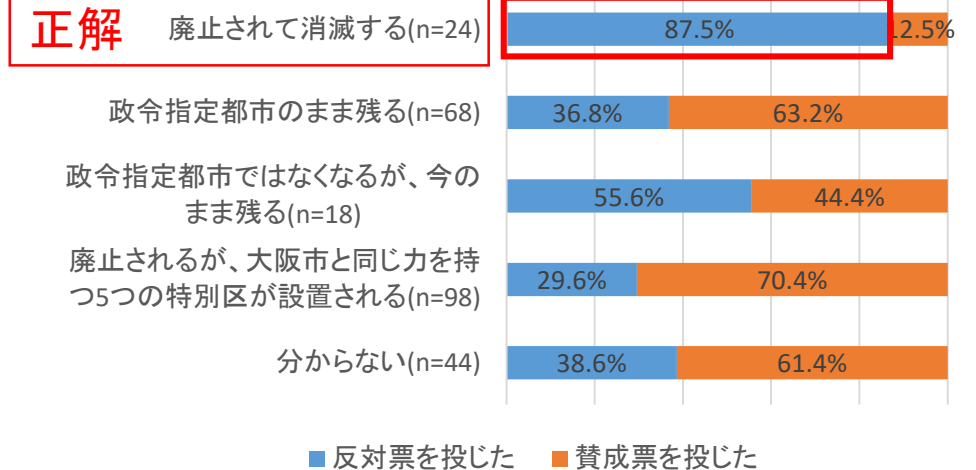
「都構想によって大阪市はどうか？」別の賛否

「市について」の正解者は**1割以下**



事実を知っている人の
9割が都構想に**反対**
(知らない人は大半が賛成)

都構想賛否別



つまり.....

「都構想の**事実**」を知っていれば、
ほぼ全て^(9割)の市民が反対する。

しかし、「**事実**」を知っている人は、

ほんの僅か^(8.7%)。 (これこそ、半数近くもが賛成した最大の理由)

↓だから.....

「都構想の**真実**」を

一人でも多くの市民に伝えていく事が、

全ての「**鍵**」

(=これができれば、自ずと**否決**となる)。

「大阪都構想の危険性」に関する学者所見
(10月4日現在、 計 1 1 0 人)

「サトシフジイドットコム
大阪都構想を考える」 内

<https://satoshi-fujii.com/scholarviews2020/>

最も重要な事実情報は「大阪市廃止」

「大阪都構想は、

大阪市が**廃止**され、**消滅**する構想です」

都構想の

「大阪市廃止」が導く日本の没落

真実

藤井 聡
Fujii Satoshi



大阪都構想 住民投票(1/1)

日本の未来の民主政治のあり方とは!?

“明るく強靱な日本”
を自分たちの手で実現し
続けるため、必読の書!!

啓文社書房

大阪市廃止・7つの事実

- 【事実1】 今回の住民投票で決まっても、「大阪都」にならず「大阪府」のまま。
- 【事実2】 今の「都構想」は、大阪市を廃止し、四つの特別区に分割する「大阪市四分割」の構想です。
- 【事実3】 大阪市民は、年間2000億円分の「おカネ」と「権限」を失います。
- 【事実4】 2000億円が様々に「流用」され、大阪市民への行政サービスが低下するのは決定的。
- 【事実5】 特別区の人口比は東京7割、大阪3割。だから大阪には東京のような「大都市行政」は困難。
- 【事実6】 東京23区には「特別区はダメ。市にして欲しい」という大阪と逆の議論があります。
- 【事実7】 東京の繁栄は「都」の仕組みのおかげでなく、「一極集中」の賜(たまもの)です。

大阪市廃止・7つの真実

- 【真実1】 「都構想」は「一度やってみて、ダメなら元に戻す...」は絶望的に難しい。
- 【真実2】 大阪都構想という「大改革」を行うためのコストは莫大にかかる。
- 【真実3】 「都構想」とは、大阪市民が自分たちの『自治』を失う話なのです。
- 【真実4】 いろんな行政の手続きが「三重化」して複雑化します。結果、行政サービスが低下することは決定的です。
- 【真実5】 「都構想」の実現で、大阪の都心のまちづくりが停滞し、大阪全体が「ダメ」になることは、決定的です。
- 【真実6】 「都構想」は、大阪という大切な「日本の宝」の喪失をもたらします。
- 【真実7】 「大阪の発展」に必要なのは、「改革」でなく「プロジェクト」である